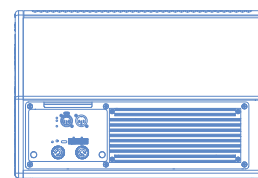
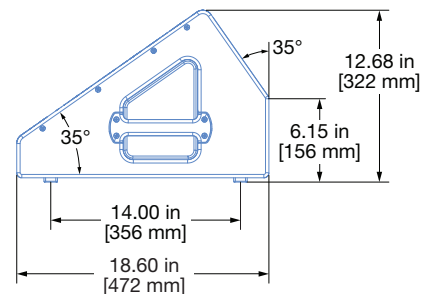
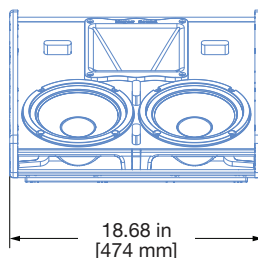


## MJF-208 コンパクトステージモニター



MJF-208は、高い評価を得ているMeyerSoundのステージモニターMJFシリーズの高い明瞭度と低域のヘッドルームを、より軽量で持ち運び可能なキャビネットに収めたコンパクトステージモニターです。

MJF-208は、MJF-212AやMJF-210のような高出力を必要としない、最小限のステージスペースでのモニタリング用途に最適です。この3つのステージモニターは、電源内蔵型を採用しているため、セットアップや操作が簡単で、ステージで安定したサウンドを提供することができます。

MJF-208の55Hz~18kHzの周波数帯域は位相補正されており、音声や楽器の音を正確に再現し、歪みが少なく、カラー信号もありません。また、フラットな位相特性と周波数特性により、優れたパターン制御を実現し、近くのマイクとの相互作用を最小限に抑え、ハウリング前に高利得を得ることができます。

MJF-208は、2つの8インチハイパワー低周波ドライバーと、3インチダイアフラムコンプレッションドライバーを定指向性ホーンと組み合わせで搭載した、耐久性の高いベント式エンクロージャーです。最適化されたクロスオーバーと精度の高いホーンを備えたデュアル・ドライバー・デザインは、他のウェッジ・モニター・デザインでは不可能な、広いヘッドルームと対象的なカバレッジを実現しています。MJF-208は、左右に配置する場合、対の組み合わせで購入する必要はありません。水平方向70°、垂直方向50°のホーンは、多数のモニターを設置できない狭いスペースでも最適な指向角度を提供します。薄型のキャビネットは、ステージから35°傾斜があり、観客の視界を妨げません。

ドライバーには、3チャンネルのクラスDアンプを搭載しています。インテリジェントAC電源は、自動電圧選択、EMIフィルタリング、ソフトカレントターンオン、サージサプレッション機能を備えています。

オプションのRMS™リモート・モニタリング・システム・モジュールは、Compass®コントロール・ソフトウェアが動作するMac®またはWindows®ベースのコンピュータから、ラウドスピーカーのパラメータを総合的にモニタリングすることができます。MJF-208のXLR5ピンコネクタ(オプション)は、コンポジットケーブルを使用して、バランスオーディオとRMS信号の両方を伝送することができます。

オプションのMDM-832は、AC電源、バランス音声、RMSを複数のMJFステージモニターに分配し、可搬性と使いやすさをさらに向上させます。MDM-832は、AC電源、バランス音声、RMSを複合したケーブルで分配することで、セットアップや収納の手間を省き、ステージ上のケーブルの乱雑さを解消します。

MJF-208のキャビネットは、高級感のあるカンパ材を使用し、耐久性に優れたブラックコーティングが施されています。また、底面には振動による位置の変化を防ぐ保護用のラバーストリップが付いています。ドライバーを保護するために、スチール製のグリルには、音響効果の高いブラックメッシュが施されています。

## 特徴と利点

---

- 外付けのアンプを必要としない小型軽量のフットプリントにより、ステージのスペースを取らない
- セルフパワー方式のため、セットアップや操作が簡単で、ステージ間で安定したサウンドが得られる
- 観客の視界を遮ることのない薄型キャビネット
- 高いピークパワーにより、優れた過渡応答を実現
- 安定した位相と周波数特性、優れたパターン制御により、フィードバック前のハイゲインを実現

## アプリケーション

---

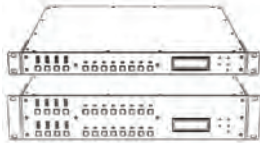
- 小・中規模のステージ、クラブ、礼拝堂、企業AV
- メインまたはバックアップボーカル、楽器モニター
- スペースや携帯性を重視する用途

## アクセサリおよび関連製品

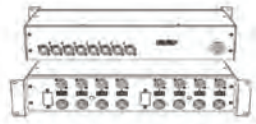
---

**Galileo GALAXY Network Platform:** Galileo GALAXYネットワークプラットフォームは、複数のゾーンを持つラウドスピーカーシステムに最先端のオーディオコントロール技術を提供します。卓越した音響性能を持ち、あらゆるアプリケーションに対応する、補正ルームイコライゼーションと微調整のためのパワフルなツールセットを提供します。

**MDM-832 Distribution Module:** MDM-832は、最大8チャンネルのAC電源、バランスオーディオ、RMS信号をスピーカに送ることができる便利なユニットです。



GALAXY Network Platform



MDM-832 Distribution Module

# 仕様

音響 <sup>1</sup>	
動作周波数範囲 <sup>2</sup>	55 Hz - 18 kHz
周波数特性 <sup>3</sup>	60 Hz - 18 kHz ±4 dB
位相応答	230 Hz - 16 kHz ±45°
リニアピークSPL <sup>4</sup>	<b>129 dB with crest factor &gt;16 dB (M-noise)</b> 7 128 dB (Pink noise), 129 dB (B-noise)
指向角度	
水平指向角度	70°
垂直指向角度	50°
トランスデューサー	
低域	8インチハイパワーコーンドライバ2基、公称インピーダンス4Ω
高域	3インチダイアフラムのコンプレッションドライバー1基、公称インピーダンス16Ω
オーディオ入力	
タイプ	差動式、電子バランスタイプ
最大コモンモード範囲	±5 V DC, 過渡 圧保護のためにアース接続
コネクタ	XLR 3ピンメス入力、オスのループ出力。オプションのXLR 5ピンコネクタは、バランスオーディオとRMS信号の両方に対応。
入力インピーダンス	ピン2-3間に10kΩの差動
配線 <sup>5</sup>	ピン1: シャーシ/アース間 1 kΩ, 1000 pF, 15 Vクランプネットワークにより、オーディオ周波数で仮想的なグラウンドリフトを実現 ピン2: オーディオ信号 + ピン3: オーディオ信号 - ピン4: RMS(極性不問) ピン5: RMS(極性不問) ケース: アースグラウンド・シャーシ
公称入力感度	0 dBV (1.0 V rms) 連続は、一般的にノイズと音楽のリミッター開始ポイント
入力レベル	スピーカの動作帯域幅にわたって最大ピークSPLを生成するには、+20 dBV (10 Vrms) を600Ωで生成できるオーディオソースが必要です。
アンプ	
タイプ	3チャンネル、クラスD
総出力電力 <sup>6</sup>	1770 W (ピーク)
THD, IM, TIM	< 0.02%
冷却	対流
AC 電源	
コネクタ	ループ出力付きPowerCON20入力
自動電圧選択	90-265 V AC
安全定格電圧範囲	100-240 V AC, 50-60 Hz
ターンオンとターンオフ	AC90Vターンオン、ターンオフなし、AC265V以上では内部ヒューズで保護
消費電流	
アイドル電流	0.26 A rms (115 V AC); 0.25 A rms (230 V AC); 0.28 A rms (100 V AC)
連続消費電流(>10 sec)	1.4 A rms (115 V AC); 0.8 A rms (230 V AC); 1.7 A rms (100 V AC)
バースト電流 (<1 sec) <sup>7</sup>	2.2 A rms (115 V AC), 1.1 A rms (230 V AC), 2.6 A rms (100 V AC)
瞬間最大電流	6.0 A peak (115 V AC), 2.9 A peak (230 V AC), 6.9 A peak (100 V AC)
インラッシュ電流	< 20 A (ピーク)

## 仕様

RMSネットワーク (オプション)	
	アンプのすべての動作パラメータをシステムオペレータのホストコンピュータに報告する2芯のツイストペアネットワーク。(※1)
外観	
サイズ	W: 474 mm x H: 322 mm x D: 472 mm
重量	21.3 kg
エンクロージャ	カンパ材積層合板 (質感のあるブラック仕上げ)、35° のフロントアングル
保護グリル	パウダーコーティング、ブラックメッシュ付き六角打ち抜きスチールグリル

## 注釈

- ラウドスピーカーシステムのカバレッジとSPLの予測は、Meyer SoundのMAPP System Design Toolで可能です。
- 推奨される最大動作周波数範囲、応答は負荷条件や室内音響に依存します。
- 典型的な境界負荷で軸上1mを測定します。
- Linear Peak SPL** リニアピークSPLは、典型的な境界線の負荷で軸上1mで測定されます。ラウドスピーカーのSPL圧縮は、制限開始時、2時間の継続時間、50°Cの周囲温度で、M-ノイズで測定され、<2dBです。

**Mノイズ**は、ラウドスピーカーの音楽パフォーマンスをよりよく測定するために、Meyer Soundによって開発された全帯域(10Hz~22.5kHz)のテスト信号です。オクターブバンドで一定の瞬間的なピークレベル、周波数とともに増加するクレストファクター、全帯域のピーク/RMS比が18dBであることが特徴です。クレストファクターに関する大なり小なりの記号(>)の存在は、EQやバウンダリの負荷によって高くなる可能性があることを示しています。

**ピンクノイズ**は、全帯域のテスト信号で、Peak/RMS比は12.5dBです。

**B-noise**は、最も一般的な入力スペクトルを再現したときのシステムの動作を測定値に反映させ、ピンクノイズに対してヘッドルームが残っていることを確認するために使用するMeyer Soundのテスト信号です。

- 4番ピンと5番ピン(RMS)は、バランスオーディオとRMS信号の両方に対応したXLR5ピンコネクタにのみ付属しています。
- ピークパワーは、公称負荷インピーダンスに対してアンプが生成するクリップされていない最大ピーク電圧に基づきます。
- AC電源ケーブルは、バースト電流実効値の条件下で、ケーブルの伝送損失によりラウドスピーカーの電圧が指定された動作範囲を下回らないように、十分なゲージを使用してください。

※1 オプションRMSモジュールの提供は終了となります。今後、MeyerSound社はNebra Connection Managerソフトウェアによって管理されるMilan End Pointテクノロジーへ移行して参ります。

## 設計仕様

ラウドスピーカーはセルフパワー型のステージモニターで、トランスデューサーには、70° x 50° のホーン上に2つの8インチ・コーン・ドライバーと1つの3インチ・ダイアフラム・コンプレッションドライバーが搭載されています。

ラウドスピーカーには、内部処理エレクトロニクスと、各ドライバーに1チャンネルずつの3チャンネルアンプが組み込まれています。処理機能には、イコライズ、位相補正、信号分割、ドライバー保護などが含まれます。アンプのチャンネルはクラスDです。

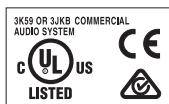
1/3オクターブの分解能で測定した代表的な製品の性能仕様は次のとおりです。動作周波数範囲: 55Hz~18kHz、位相応答: 230Hz~16kHz±45° です。カバレッジは、水平70° x 垂直50° です。リニアピークSPLは129dB、クレストファクターは16dB以上で、Mノイズ、軸上1m、典型的な境界負荷で測定します。オーディオコネクタは、XLR3ピンまたは5ピンの入力とオスのループ出力。XLR5ピンコネクタは、バランスオーディオとRMS信号の両方に対応します。

内蔵電源は、自動電圧選択、EMIフィルタリング、ソフトカレントターンオン、サージ抑制を行います。電源要件は、公称AC100V、110V、230V、50-60Hzのライン電流です。ULおよびCEの動作電圧範囲はAC100-240V、50-60Hzです。最大瞬間ピーク電流は、AC115Vで6.0Aピーク、AC230Vで2.9Aピーク、AC100Vで6.9Aピークです。AC電源コネクタはループ出力付きのpowerCON 20を使用します。ラウドスピーカーには、オプションでRMSリモート・モニタリング・システム・モジュールを搭載します。

音響的に換気されたV字型のエンクロージャに取り付けられています。保護グリルは、黒のメッシュスクリーンを備えた六角形の型押しスチール製です。寸法は、幅: 474 mm x 高さ: 322 mm x 奥行き: 472 mmです。重量は21.3kgです。エンクロージャの正面角度は35° です。

ラウドスピーカーは、Meyer Sound MJF-208です。

Meyer Sound Laboratories, Inc.  
2832 San Pablo Avenue  
Berkeley, CA 94702



+1 510 486.1166  
meyersound.com/contact  
meyersound.com

MJF-208  
04.259.004.02 B  
Copyright © 2020. All Rights Reserved.



株式会社アートウィズ  
〒134-0003 東京都江戸川区春江町5-11-2  
Tel : 03-5667-9682